

第3次

富士見市生涯学習推進基本計画

(令和3年度～令和7年度)

【概要版】



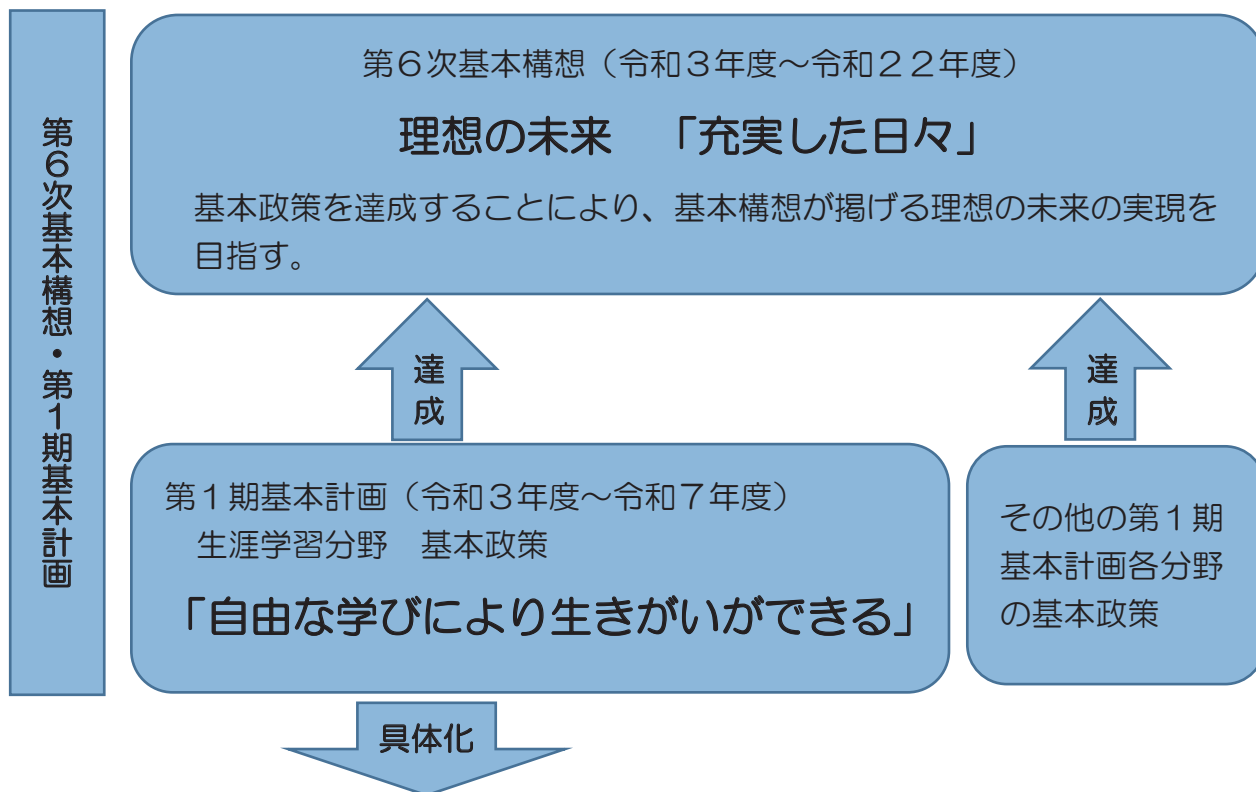
★富士見市★
マスコットキャラクター
ふわっぴー

生涯学習とは？

生涯に行うあらゆる学習、すなわち、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な機会や場所において行う学習活動をいいます。

富士見市教育委員会

第3次生涯学習推進基本計画の位置付けと目標



第6次基本構想・第1期基本計画

第6次基本構想（令和3年度～令和22年度）

理想の未来 「充実した日々」

基本政策を達成することにより、基本構想が掲げる理想の未来の実現を目指す。

達成

第1期基本計画（令和3年度～令和7年度）

生涯学習分野 基本政策

「自由な学びにより生きがいができる」

達成

その他の第1期
基本計画各分野
の基本政策

具体化

部門計画

第3次生涯学習推進基本計画（令和3年度～令和7年度）

- ・ 第1期基本計画における生涯学習分野の基本政策実現のため、具体的な取組を計画するもの
- ・ 計画の目標は、第1期基本計画の基本政策と同じ
「自由な学びにより生きがいができる」
- ・ 計画の目標を達成するために3つの基本目標を定めています
 - 1 市民の生涯学習を支援します
 - 2 地域資源や地域の人材を活かした生涯学習をすすめます
 - 3 生涯学習を通じた地域コミュニティの活性化を目指します

■この計画は、第6次基本構想¹・第1期基本計画²の部門計画です。

■「自由な学びにより生きがいができる」を計画の目標とします。

■計画期間は、第1次計画及び第2次計画では10年間としていましたが、第3次計画では社会の急速な変化を踏まえて、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

基本的な考え方と基本理念

■この計画は、第2次計画において整理した生涯学習の「基本的な考え方」と「基本理念」を引き継ぎつつ、社会状況の変化などを踏まえた基本目標と施策の柱を定め、施策を推進していきます。

【基本的な考え方】

- 1 事業の基本は市民一人ひとりの自由で自発的な「学ぶ意欲」にあるということ
- 2 「学ぶ意欲」をさらに育て、市民の主体的な学習活動を支援することが行政の大切な責務であること
- 3 市民や関係団体や企業などと行政の協働により「学びやすい環境づくり」をすすめること
- 4 地域の課題を解決することを通じた、まちづくりに向けた学習支援であること
- 5 市民一人ひとりの課題・目的を解決・追及する力を高めていくことにつなげられるような事業であること

【基本理念】

市民一人ひとりが、安心して生活し、行政との協働のもとで、いつでも、どこでも、いつまでも自発的に学習をすすめ、そのことを通して、すべての市民が互いを尊重し、心豊かに暮らせるまちづくりの実現を目指す。

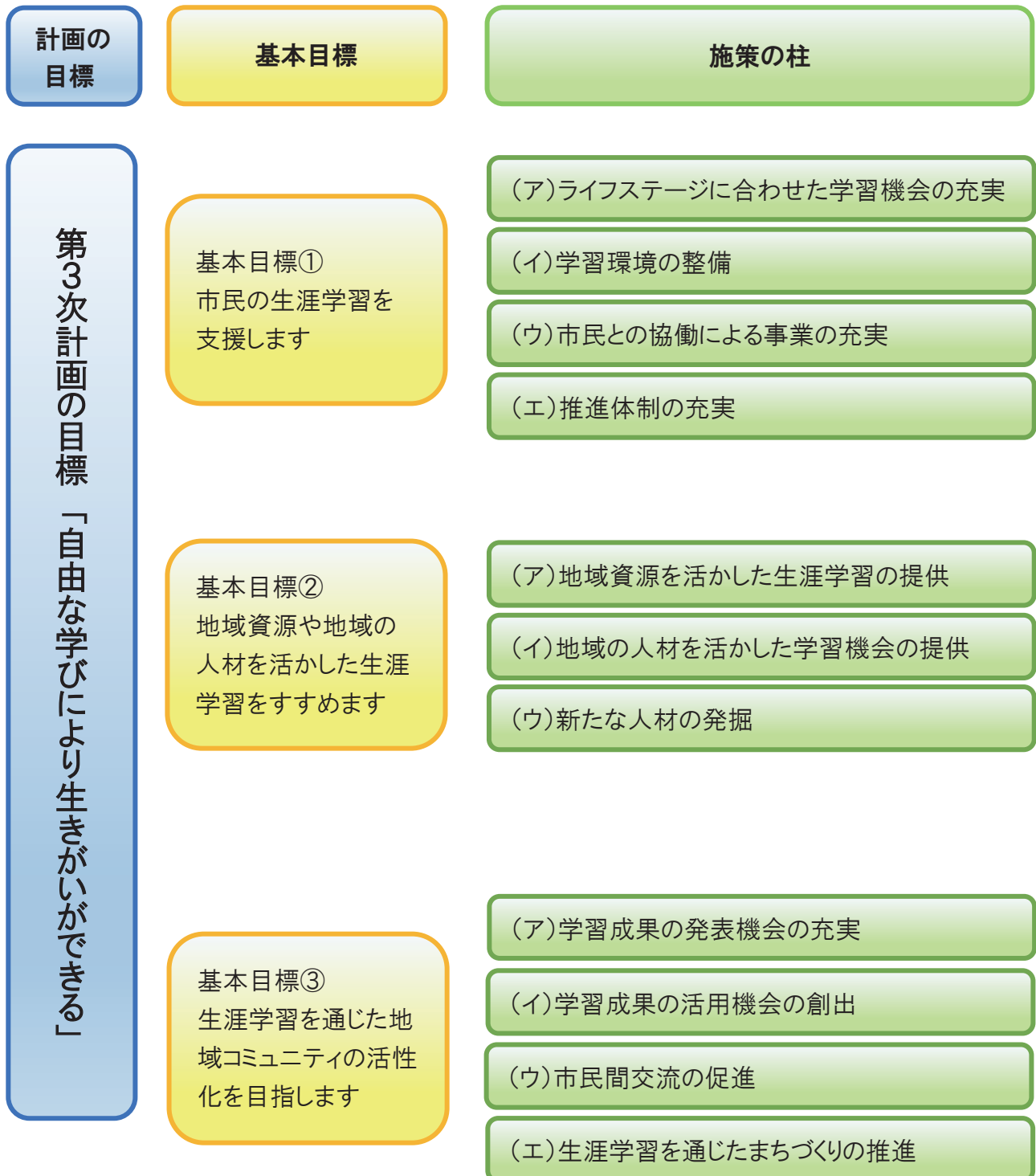
用語解説

¹基本構想 市のまちづくりの長期的な展望を示した計画。富士見市では、第4次と第5次の基本構想は10年間、第6次基本構想は20年間を計画期間として策定された。

²基本計画 基本構想で定めた目標を実現するため、具体的な施策を体系的に示した計画。第6次基本構想の20年間に、第1期から第4期まで各5年間の基本計画を策定する。

施策の体系

- 第3次計画の目標の実現に向け、3つの基本目標と11の施策の柱、それに関連した具体的施策を実施します。
- 本計画では、基本目標及び施策の柱ごとに「成果指標」を設定しています。この指標を基に定期的に点検・評価を行い、目標達成に向けて取り組みます。



計画の成果指標

基本目標① 市民の生涯学習を支援します

市民のライフステージに応じた学習機会の提供、学習情報の提供などによる学習環境の整備、新型コロナウイルス感染症と新しい生活様式に対応した学習支援など、いつでも、どこでも、いつまでも生涯学習ができる環境づくりを推進し、市民の生涯学習を支援します。

指標項目	基準値	目標値
学習活動支援に対する満足度 出典：市民意識調査	45.6% (平成30年度)	50.0% (令和7年度)

施策の柱 (ア) ライフステージに合わせた
学習機会の充実

指標項目	基準値	目標値
自分のライフステージに合った事業 が行われていると感じる人の割合 出典：Web アンケート	14.7% (令和2年度)	25.0% (令和7年度)

施策の柱 (イ) 学習環境の整備

指標項目	基準値	目標値
生涯学習に関する情報が手に入り やすいと回答した人の割合 出典：生涯学習に関する市民アンケート	36.0% (令和元年度)	40.0% (令和7年度)

施策の柱 (ウ) 市民との協働による事業の
充実

指標項目	基準値	目標値
市民団体との協働事業の実施数 出典：協働推進課資料	延べ116回 (令和元年度)	延べ136回 (令和7年度)

施策の柱 (エ) 推進体制の充実

指標項目	基準値	目標値
生涯学習推進市民懇談会の実施回 数 出典：生涯学習課資料	2回 (令和元年度)	継続 (令和7年度)

基本目標② 地域資源や地域の人材を活かした生涯学習をすすめます

本市の郷土芸能や自然環境、農業・商工業などの地域資源や、これまでの生涯学習活動の蓄積、地域の多様な人材などを活かした生涯学習をすすめます。

指標項目	基準値	目標値
市民人材バンクを活用して「よかった」と回答した人の割合 出典：市民人材バンク利用報告書	89.0% (令和元年度)	90.0% (令和7年度)

施策の柱 (ア) 地域資源を活かした生涯学習の提供

指標項目	基準値	目標値
地域の産業や資源、歴史や文化を活かした事業数 出典：第2次生涯学習推進基本計画実績調査	18事業/年 (令和元年度)	20事業/年 (令和7年度)

施策の柱 (イ) 地域の人材を活かした学習機会の提供

指標項目	基準値	目標値
市民人材バンクの依頼件数 出典：生涯学習課資料	522件/年 (令和元年度)	550件/年 (令和7年度)

施策の柱 (ウ) 新たな人材の発掘

指標項目	基準値	目標値
地域の担い手育成を推進する事業数 出典：生涯学習課資料	23事業/年 (平成30年度)	25事業/年 (令和7年度)

基本目標③ 生涯学習を通じた地域コミュニティの活性化を目指します

基本理念に掲げる「心豊かに暮らせるまちづくり」を実現するために、市民と市民、市民と地域の繋がりを創出する取組を推進し、地域コミュニティの活性化につなげます。

指標項目	基準値	目標値
生涯学習を通じて「つながり」を感じている人の割合 出典：Web アンケート	29.2% (令和2年度)	40.0% (令和7年度)

施策の柱 (ア) 学習成果の発表機会の充実

指標項目	基準値	目標値
文化祭等への参加人数 出典：各事業報告書・主要な施策の成果報告書	21,000人 (平成30年度)	22,000人 (令和7年度)

施策の柱 (イ) 学習成果の活用機会の創出

指標項目	基準値	目標値
市民人材バンクの依頼件数(再掲) 出典：生涯学習課資料	522件/年 (令和元年度)	550件/年 (令和7年度)

施策の柱 (ウ) 市民間交流の促進

指標項目	基準値	目標値
交流会等の実施回数 出典：生涯学習課資料	18回/年 (令和元年度)	充実・拡大 (令和7年度)

施策の柱 (エ) 生涯学習を通じたまちづくりの推進

指標項目	基準値	目標値
協働によるまちづくり講座の実施回数 出典：主要な施策の成果報告書	33回/年 (令和元年度)	35回/年 (令和7年度)

計画の推進体制

① 計画の推進体制

- 生涯学習を推進していくためには、生涯学習に取り組む市民、生涯学習事業を実施する公民館や交流センターなど、生涯学習課やその他の関係部署が連携・協働しながら、事業の実施や計画の進捗管理を円滑に行っていくことが必要です。
- 本計画の目標達成のために、市民組織である生涯学習推進市民懇談会と、全庁的組織として設置されている生涯学習推進委員会を中心に、計画を推進していくこととします。

② 富士見市生涯学習推進アクションプラン

- 第3次計画の目標「自由な学びにより生きがいができる」を達成するためにアクションプランを作成しました。アクションプランは目標達成のために、市(公民館・交流センター・資料館などの施設や生涯学習課等)が取り組む様々な事業を計画し実行するものです。
- 目標達成に向け、生涯学習推進市民懇談会や生涯学習推進委員会において、アクションプランの進捗状況の評価・確認と課題の洗い出しを毎年度実施します。



第3次富士見市生涯学習推進基本計画
(令和3年度～令和7年度)
【概要版】

富士見市教育委員会教育部生涯学習課
〒354-0021 富士見市大字鶴馬1873番地1
電話 049-252-7138
FAX 049-255-9635